

守口市 防災 ハザードマップ



守口市防災ハザードマップ

発行: 守口市

令和元年8月発行
令和5年9月修正

【お断り】

本文中の地図は弊社2018年11月発行の守口市住宅地図データをもとに作成しております。作成には細心の注意を払い編集作業を行っておりますが、データ量は膨大であり日々変化する現状と地図面とが一致しない場合があります。また、目標名称などは見易さを優先し正式名称などを一部割愛しております。申し訳ございませんが何卒ご了承くださいませ様よろしくお願ひ申し上げます。

◆お問い合わせ先
防災情報……守口市役所 〒570-8666 大阪府守口市京阪本通2丁目5-5 TEL 06-6992-1221 (代表)
地図……佛ゼンリン大阪営業所 〒532-0004 大阪府大阪市淀川区西宮原1丁目8-10 TEL 06-6152-6224

※掲載内容は令和5年9月現在のものです。発行後、掲載内容に変更がある場合もありますのでご了承ください。

無断で複写・転載することをご遠慮ください。著作権者に無断で本誌の全部、または一部を複製及び転載することは、著作権法により禁止されています。 ©Moriguchi city ©2023 ZENRIN CO., LTD.

【この地図は、大阪府の承認を得て、大阪府地形図データ(2500レベル)を使用して作成したものである。(承認番号 平30総計第1898号)】

【この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図及び2万5千分の1地形図及び電子地図25000を使用した。(承認番号 平29情使、第444-1078号)】

CONTENTS

防災情報

このマップの使い方	P1
防災情報の伝達経路・水害の避難情報と警戒レベル	P2
情報の入手方法・防災情報の確認	P3
災害時緊急情報	P4
気象予報警報等主な種類と内容	P4
防災行政無線	P5
災害時の安否確認方法	P6

地震

上町断層帯地震A・南海トラフ巨大地震	P7
南海トラフ地震臨時情報	P8
震度と揺れ等の状況	P9
地震発生、その時どうする？	P10

風水害

雨の強さと降り方、災害発生の目安	P11
大雨の際の危険箇所	P11
避難のポイント	P12
竜巻・落雷から身を守るために！	P12

備え

自助・共助・公助、自主防災組織、防災士	P13
非常持出品・備蓄品（チェックリスト）	P14～P15
ローリングストック	P15

避難所一覧

P16

一時避難場所・広域避難場所一覧

P17

こども向けページ

災害について知っておこう	18	いざというときどうする？	19
地震のとき	20	防災対策チェック	21

ハザードマップ

淀川洪水浸水想定区域図	P22～P27
寝屋川流域洪水リスク表示図	P28～P33
浸水継続時間図（淀川・寝屋川流域）	P34～P35
内水ハザードマップ	P36～P41

●このマップの使い方

災害による被害は、わたしたちの日ごろの努力によって減らすことが可能です。守口市は、国や大阪府などとともに「公助」の役割を果たしますが、市民の皆さんには自分の身は自分で守るという「自助」、それを地域で補う「共助」の取り組みが被害を減らす大きな力となります。日頃から、「自分でできること」「家族でできること」「地域でできること」について考え、備えてください。本ハザードマップを、いざという時どう行動するかを家族や近くの人と話し合う材料として是非活用してください。

●ご利用にあたって

「守口市防災ハザードマップ」は、守口市民のための防災情報誌です。本誌に掲載されている防災情報は令和5年9月現在、地図は平成30年11月に調製した守口市地図データをもとに作成しています。その後公表された情報や、街なみの変化にはご注意ください。

●本書で使用した洪水リスク表示図と内水ハザードマップ

本誌で掲載しているハザードマップ（P.22～）は、水防法の規定に基づき現在想定される最大規模の雨量等の想定を元に作成しています。また、内水ハザードマップは、守口市で近年実際に起こった最大規模の降雨を元に作成しています。雨量等の想定は次のとおりです。最悪の状態を想定して、日頃からの備えに活かしてください。

淀川洪水浸水想定区域図（国土交通省 平成29年6月作成）

・24時間に360mmの降水量の想定です。1000年に一度発生する規模の災害想定です。

寝屋川流域洪水リスク表示図（大阪府 平成31年3月作成）

- ・24時間に683mmの降水量の想定です。1000年に一度発生する規模の災害想定です。
- ・計画高潮※1（O.P.※2 +5.20mの潮位を言います。）が同時に起こった場合
- ・守口市内の雨水排水ポンプ場の能力が半分（ポンプ運転調整と申します。）となった場合を想定

内水ハザードマップ（守口市 平成26年3月作成）

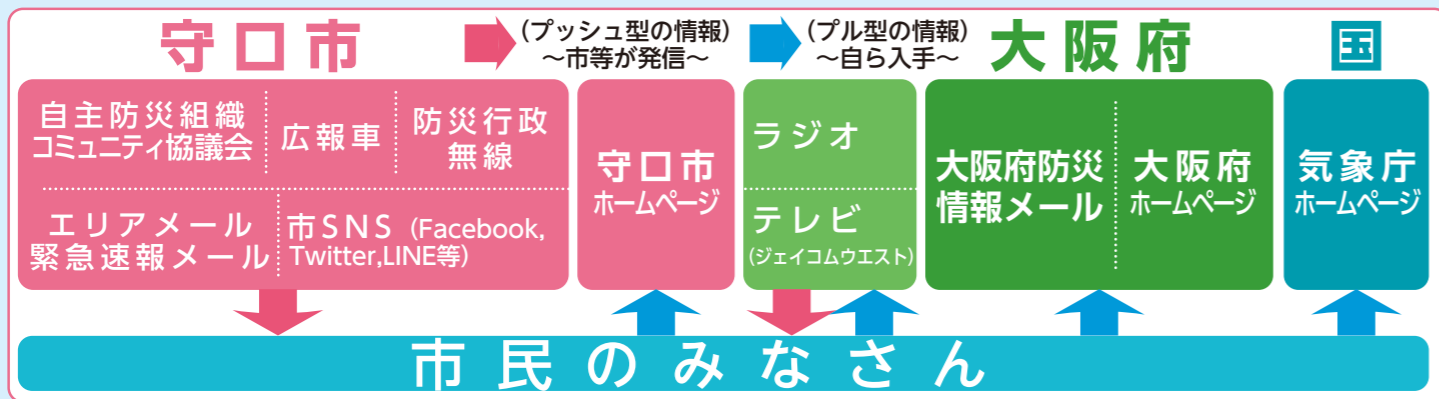
これまでの市内最大降雨量（平成24年8月14日 1時間で115mm、24時間で120mm）を元に、守口市内の雨水排水ポンプ場の能力が半分（ポンプ運転調整と申します。）となった場合を想定

※1 計画高潮とは、満潮などで大阪湾の潮位が上昇している時に周辺河川に最大降雨量の雨が降った場合の被害想定のために設定するものをいいます。

※2 O.P.とは、大阪湾（天保山）における最低潮位をO.P.±0.0mとした潮位観測に用いる基準をいいます。



防災情報の伝達経路



「災害モード」宣言の実施について

大阪府では、広域的な大規模災害が発生もしくは迫っていることを府民や事業者等に呼びかける「災害モード宣言」の運用を開始しました。

例) 強い台風の接近が見込まれる場合などに、市民に不要不急の外出を控えていただくことや、守口市から発信される避難情報等に注意するよう、事前の備えを促します。

水害の避難情報と警戒レベル

市区町村が出す警戒レベル3又は警戒レベル4(避難情報)で必ず避難しましょう
気象庁などから出る河川水位や雨の情報を参考に自主的に早めの避難をしましょう

避難情報等 (警戒レベル)				河川水位や雨の情報 (警戒レベル相当情報)			
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報 (警戒レベル相当情報)			
				浸水の情報(河川)	土砂災害の情報(雨)		
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保	5相当 氾濫発生情報	大雨特別警報 (土砂災害)		
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難! > ~~~~~							
4	災害のおそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示	4相当 氾濫危険情報	土砂災害警戒情報		
3	災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難	3相当 氾濫警戒情報 洪水警報	大雨情報		
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報	2相当 氾濫注意情報	---		
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	1相当	---		

市区町村長は、河川や雨の情報(警戒レベル相当情報)のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等(警戒レベル)の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

### 河川情報

### 河川防災情報【大阪府】

(リアルタイム)

大阪府 水位情報

河川の水位がリアルタイムで見られます。



### 雨量状況

### 川の防災情報 レーダ雨量(XRAIN)【国土交通省】

(リアルタイム)

XRAIN

レーダ雨量計で観測した雨量情報が見られます。



## 情報の入手方法は?

地域に発表された気象情報や避難情報などの防災情報をメールで大阪府がお知らせします。

## 防災情報メール【大阪府】

1 下の二次元コードを読み込むか次のアドレスを入力し、空メールを送信。



touroku@osaka-bousai.net

2 メールが自動配信されます。受信メールのURLから登録画面を開いてください

件名:ユーザー登録  
以下のURLにアクセスし、ユーザー登録を行ってください。

■登録  
<http://mail.osaka-bousai.net/...>

■解除  
<http://mail.osaka-bousai.net/...>

3 「新規登録」ボタンを押します。

mail.osaka-bousai.net/...

ユーザー登録  
おおさか防災ネットのメール配信を新しく希望する場合は新規登録ボタンを押してください。



4 「利用規約」を読んで「同意する」ボタンを押します。

mail.osaka-bousai.net/...

同意する

5 配信希望の地区を選択します。(次へ)

mail.osaka-bousai.net/...

配信地域の選択 (複数選択可)  
全域指定  
 大阪府全域  
市町村指定  
 大阪市  堺市  貝塚市  守口市

次へ

6 配信希望条件を選択します。(次へ)

mail.osaka-bousai.net/...

配信条件選択  
■国民保護情報  
希望する▼  
▼  
■津波  
希望しない▼  
▼

次へ

7 登録内容を確認したら「登録」ボタンを押します。

mail.osaka-bousai.net/...

登録内容確認  
.....  
.....  
.....

8 登録完了

## 防災情報の確認

- NHK データ放送
- 防災情報メール (上記案内をご確認ください)
- ジェイコムウエスト

- 市ホームページ  守口市 ホームページ
- 市フェイスブック  守口市 フェイスブック
- 市ツイッター  守口市 ツイッター

## 避難所開設情報 守口市の被害情報

## 守口市、大阪府内の被害情報

- おおさか防災ネット <https://www.osaka-bousai.net/>
- 防災情報メール (上記案内をご確認ください)

## 気象情報

- 気象庁ホームページ <https://www.jma.go.jp/jma/index.html>
- NHK データ放送 (視聴方法) [https://www.nhk.or.jp/data/faq/#faq_1](https://www.nhk.or.jp/data/faq/#faq_1)

## 降雨予測

## 解析雨量・降水短時間予報【気象庁】

解析雨量・降水短時間予報

6時間後までの降雨予測が見られます。



## 川の水位

## 川の防災情報【国土交通省】

川の防災情報

雨雲の動きや全国の川の水位などの情報を携帯電話で見られます。



## 災害時緊急情報

## 防災行政無線



### 緊急地震速報・災害時緊急速報メール

#### ◆緊急地震速報（プッシュ型通知です。登録等は不要です。）

最大震度が5弱以上または長周期地震動階級が3以上と予想された場合に、震度4以上または長周期地震動階級3以上が予想される地域に対して気象庁から発表され、テレビやラジオ、携帯電話等で入手することができます。

緊急地震速報が発表されてから強い揺れが到達するまでの時間は、数秒から数十秒と極めて短い時間です。緊急地震速報が発表されると、**テレビやラジオなどでは「チャイム音」、携帯電話では「ブザー音」**が流れます。

「チャイム音」はNHK、「ブザー音」はNTTドコモのホームページで試聴することができます。緊急時、とっさに身を守る行動がとれるように、前もって試聴しておきましょう。

#### ◆エリアメール・緊急速報メール

守口市では、災害情報や避難指示などを迅速に伝達できるように、NTTドコモが提供する「エリアメール」、KDDI、ソフトバンク、楽天モバイルが提供する「緊急速報メール」を運用しています。

#### ◇受信できない場合

- ・通話中やパケット通信中の場合
- ・圏外及び電波状態の悪い場所にいる場合
- ・電源OFF及び電源OFFモードや航空機モードの場合
- ・配信対象エリア外の場合
- ・対応機種でない場合
- ・受信設定がなされていない場合



#### ◇特徴

受信料は無料で、登録も不要、受信すると専用着信音が流れ表示されます。



### デジタル同報系防災行政無線

災害発生時、指定避難所をはじめとする市内66箇所に設置した屋外拡声子局により、災害情報や避難情報等を一斉伝達するものです。全国瞬時警報システム(J-アラート)情報の伝達も可能になりました。強い風雨の時は聞きとりにくい弱点がありますので、拡声器による音声伝達とエリアメールや緊急速報メールによる文字伝達が相互に補完しあうことで強力な情報伝達体制を構築しています。



防災行政無線の

**放送内容が確認できます！**

防災行政無線で放送した内容を、電話応答サービスで確認できます。

**電話番号：** 06-6992-1910 06-6992-1913  
 06-6992-1914 06-6992-1916  
 06-6992-1917 06-6992-1918

## 気象予報警報等主な種類と内容

気象庁ホームページ  
[https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/bosai/warning_kind.html](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/bosai/warning_kind.html)

### 大雨特別警報

大雨特別警報は、台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合に発表されます。

大雨特別警報が発表された場合、重大な土砂災害や浸水害が発生するおそれ著しく高まっている状況です。

特に警戒すべき事項を標題に明示して「大雨特別警報（土砂災害）」、「大雨特別警報（浸水害）」又は「大雨特別警報（土砂災害、浸水害）」のように発表されます。

### 暴風特別警報

暴風特別警報は、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により暴風が吹くと予想される場合に発表されます。

### 大雨警報

大雨警報は、大雨による重大な土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表されます。

特に警戒すべき事項を標題に明示して「大雨警報（土砂災害）」、「大雨警報（浸水害）」又は「大雨警報（土砂災害、浸水害）」のように発表されます。雨が止んでも重大な土砂災害等のおそれ残っている場合には継続して発表されます。

### 洪水警報

洪水警報は、河川の上流域での大雨や融雪によって下流で生じる増水や氾濫により重大な洪水災害が発生するおそれがあると予想したときに発表されます。対象となる重大な洪水災害として、河川の増水・氾濫及び堤防の損傷・決壊、並びにこれらによる重大な浸水害があげられます。

### 暴風警報

暴風警報は、暴風により重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表されます。

### NTT災害用伝言ダイヤル「171」

NTTでは、地震など大災害発生時、家族や知人などの安否確認、見舞、問合せなどの電話が急激に増加し、電話がつながりにくい状況の緩和を図るため、災害時に限定してご利用可能な「災害用伝言ダイヤル（171）」を提供しています。



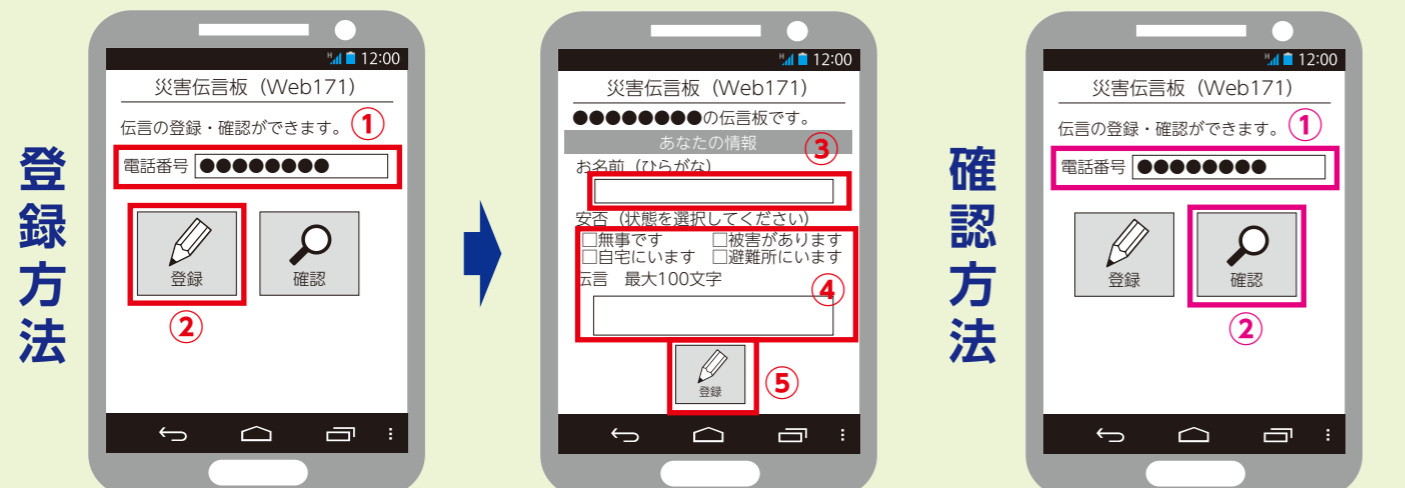
- サービスの利用可能な電話は、加入電話、公衆電話、ひかり電話および災害時に避難所などに設置する特設公衆電話からご利用できます。携帯電話や他通信事業者の電話からのご利用については、ご契約の各通信事業者にお問い合わせください。
- 伝言は被災地の方の電話番号を知っているすべての人が聞くことができます。聞かれないメッセージを録音する場合は、あらかじめ暗証番号を決めておく必要があります。

### NTT災害用伝言板「Web171」

【web171 (<https://www.web171.jp/>)】

多言語対応  
(英語・中国語・韓国語)

NTTでは、日本国内で震度6弱以上の地震など大規模な災害が発生した場合に、パソコンや携帯電話で安否確認ができる「災害用伝言板」を提供しています。



- ① ご自身の電話番号（ハイフンなし）を登録します。
- ② 「登録」を押します。
- ③ ご自身のお名前を登録します。
- ④ 安否状態を選択します。伝言があれば入力します。
- ⑤ 「登録」を押します。
- ① 相手の電話番号（ハイフンなし）を登録します。
- ② 「確認」を押すと相手の伝言が確認できます。

※各携帯電話会社も同様のサービスを行っています。詳しくは各携帯電話会社のHPをご確認ください。機種等によって利用方法や画面が異なる場合があります。

### 体験利用のご案内 <災害用伝言ダイヤル（171）&災害用伝言板（web171）>

- 体験利用日**
- ・毎月1日及び15日 00:00～24:00
  - ・正月三が日（1月1日 00:00～1月3日 24:00）
  - ・防災週間（8月30日 9:00～9月5日 17:00）
  - ・防災とボランティア週間（1月15日 9:00～1月21日 17:00）

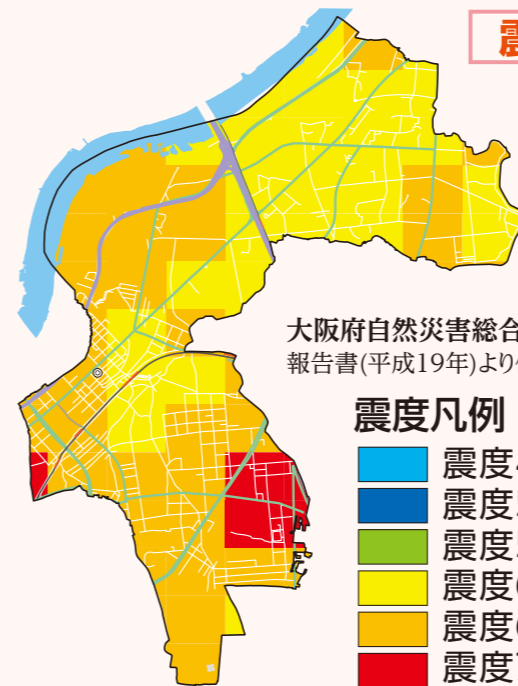
伝言保存期間  
伝言保存期間は体験利用期間のみ

**利用料金**

<災害用伝言ダイヤル（171）> 伝言蓄積等のセンター利用料は無料です。NTT西日本またはNTT東日本の電話から伝言の録音・再生をする場合の通話料は無料です。他通信事業者の電話から発信する場合の通話料については各通信事業者にお問い合わせください。

※<災害用伝言板（web171）>体験利用であっても通話料は発生します。

### 震度分布図



大阪府自然災害総合防災対策検討(地震被害想定) 報告書(平成19年)より作成

#### 震度凡例

- 震度4以下
- 震度5弱
- 震度5強
- 震度6弱
- 震度6強
- 震度7

### 上町断層帯地震A

上町断層帯地震Aは上町断層帯の北中部を震源として発生する地震です。

#### ■守口市における被害想定

上町断層帯地震A

(発生確率30年以内で2～3%程度)

(国の地震調査研究推進本部による評価参照)

H27.1.1時点

項目	被害想定	項目	被害想定
守口市域の震度	5強～7	死者数	520人
全壊棟数	10,512棟	負傷者数	3,385人
半壊棟数	8,379棟	最大避難者数	24,805人
		避難所	

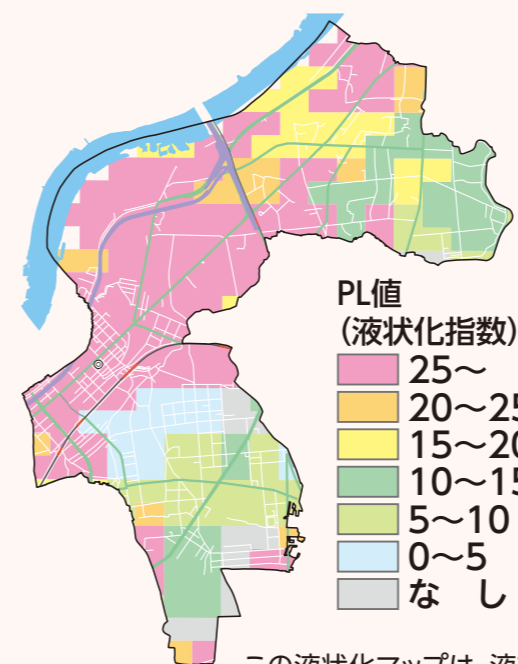
南海トラフ巨大地震は「東海」「東南海」「南海」の3つの地震が連動した場合の最大規模の被害を想定した地震です。守口市は全域震度6弱分布のエリアとなります。

### 南海トラフ巨大地震

#### ■守口市における被害想定

南海トラフ巨大地震災害対策等検討部会 (大阪府防災会議) 資料(平成25年、26年)より作成

項目	震度・被害想定	項目	被害想定
最大震度	6弱	死者数	100人
津波浸水面積	0.0ha	負傷者数	1,554人
全壊棟数	22,379棟	最大避難者数	36,781人
半壊棟数	9,489棟	避難所	



#### PL値 (液状化指数)

- 25～
- 20～25
- 15～20
- 10～15
- 5～10
- 0～5
- なし

この液状化マップは、液状化の起こりやすさ起こりにくさを地図上に色分けして示したものです。PL値(液状化指数)が高いほど液状化が起こりやすく、建物の損傷が軽微でも基礎がぐらつく危険があります。

### 液状化

#### 震度凡例

- 震度4以下
- 震度5弱
- 震度5強
- 震度6弱
- 震度6強
- 震度7

### 震度分布図

## 南海トラフ地震臨時情報 情報の種類と発表条件

気象庁では、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと評価された場合等に、「南海トラフ地震臨時情報」や「南海トラフ地震関連解説情報」を発表します。

情報名	キーワード	情報発表条件
南海トラフ地震臨時情報	調査中	観測された異常な現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合
	巨大地震警戒	<b>巨大地震の発生に警戒が必要な場合</b> 南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界において Mw（モーメントマグニチュード）※ 8.0 以上の地震が発生したと評価した場合
	巨大地震注意	<b>巨大地震の発生に注意が必要な場合</b> 南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界において Mw7.0 以上 Mw8.0 未満の地震や通常と異なるゆっくりすべりが発生したと評価した場合等
	調査終了	(巨大地震警戒)、(巨大地震注意) のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合
南海トラフ地震関連解説情報	防災対応がとりやすいようキーワードを付して情報を発表します	観測された異常な現象の調査結果を発表した後の <b>状況の推移等</b> を発表する場合 「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合における調査結果を発表する場合(ただし臨時情報を発表した場合を除く)

※Mw(「モーメントマグニチュード」とは… 地震の規模を断層面の面積・すべり量等から算出したもので、マグニチュードに比べ、計算に時間がかかりますが、巨大地震でも正しく規模を求めることができます。

## 日頃からの地震への備え、個々の状況に応じた防災対応

気象庁から南海トラフ地震関連情報が発表された場合に、これらの日頃からの地震への備えを再確認し、地震が発生した場合に速やかに必要な防災対応が行えるようにしておく必要があります。

### 日頃からの地震への備えの再確認

- ・家具の固定の確認
- ・家族との安否確認手段の確認
- ・避難場所・避難経路の確認
- ・家庭における備蓄の確認

### 個々の状況に応じた防災対応

- ・すぐに避難できる準備(非常持出袋等)
- ・転倒、落下物等のない安全な部屋で過ごす
- ・親戚・知人宅への自主避難

## 震度と揺れ等の状況







出典元：気象庁「気象庁震度階級の解説」

<p><b>0</b></p>  <p>人は揺れを感じない。</p>	<p><b>1</b></p>  <p>屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。</p>	<p><b>2</b></p>  <p>屋内で静かにしている人の大半が揺れを感じる。</p>	<p><b>3</b></p>  <p>屋内にいる人のほとんどが揺れを感じる。</p>
<p><b>4</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>●ほとんどの人が驚く。</li> <li>●電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。</li> <li>●座りの悪い置物が、倒れることがある。</li> </ul>	<p><b>5弱</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>●大半の人が恐怖を覚え、物につかまると感じる。</li> <li>●棚にある食器類や本が落ちることがある。</li> <li>●固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。</li> </ul>	<p><b>6弱</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>●立っていることが困難になる。</li> <li>●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。</li> <li>●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。</li> <li>●耐震性が低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。</li> </ul>	<p><b>6強</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>●はわないと動くことができない。飛ばされることもある。</li> <li>●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。</li> <li>●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。</li> <li>●大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。</li> </ul>
<p><b>5強</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>●物につかまらなると歩くことが難しい。</li> <li>●棚にある食器類や本で落ちるものが多くなる。固定していない家具が倒れることがある。</li> <li>●補強されていないブロック塀が崩れることがある。</li> </ul>	<p><b>7</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。</li> <li>●耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。</li> <li>●耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる。</li> </ul>		

## 地震発生、その時どうする？

地震

### 地震が起こったときの行動 グラツきたら、まずは自分の身を守る…

1. まずは自分の身を守りましょう  丈夫な机やテーブルの下にもぐり、脚を持って揺れがおさまるのを待ちましょう。	2. すばやく火の始末を  揺れが激しい時には無理をしない。	3. 家具や棚から離れる  タンスやテレビが転倒し、負傷しないために離れる。事前に転倒防止措置をしておく。	4. 窓や扉を開けて出口を確保  余震によりドアがゆがんだりして開かなくなるため。	5. あわてて家の外に飛び出さない  瓦やガラスなどの落下物による負傷をさけるため。	6. 門や塀 自動販売機には近寄らない  門や塀などが倒れてくる危険があるため。
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 自宅編

<b>台所では…</b>  まずはテーブルなどの下に入って身を守り、揺れがおさまってから火を消しましょう。	<b>寝室では…</b>  ベッドの下に入るか、布団や枕で頭を守り家具が倒れてこないところで身を伏せましょう。	<b>浴室では…</b>  あわてて飛びださず、ドアを開けて出口を確保しましょう。	<b>トイレでは…</b>  比較的安全な場所とされていますが、ドアを開けて出口を確保しましょう。
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 外出編

<b>職場では…</b>  OA機器やキャビネットなどから離れ、頭部を保護して机の下にもぐりましょう。	<b>学校・塾では…</b>  教室では机の下などに隠れます。体育館や運動場では真ん中に集まってしゃがみます。	<b>デパート・スーパーでは…</b>  バッグや買い物かごなどで頭部を保護し、ショーケースから離れます。係員の指示に従います。	<b>地下街では…</b>  バッグなどで頭部を保護します。停電になっても非常灯がつくまで動かないようにします。
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<b>家の周囲では…</b>  屋根からの瓦や窓ガラスの破片など落下物に注意しましょう。	<b>エレベーターでは…</b>  全ての階のボタンを押し、最初に止まった階でおります。動かない時は非常用連絡ボタンを押しします。	<b>電車・バスの中では…</b>  姿勢を低くして頭部をカバンなどで保護します。	<b>山・丘陵地では…</b>  まずは、落石から身を守りましょう。崖や急傾斜地などから、できるだけ離れましょう。
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 雨の強さと降り方、災害発生の目安

1時間雨量 (mm)	10以上～20未満	20以上～30未満	30以上～50未満	50以上～80未満	80以上～
予報単語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る (ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしていてもぬれる		傘は全く役に立たなくなる	
屋内 (木造住宅を想定)	雨の音で話し声がよく聞き取れない				
屋外の様子	地面一面に水たまりができる		道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	
車に乗っていて	ワイパーを速くしても見づらい		高速走行時、タイヤと路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる (ハイドロプレーニング現象)	車の運転は危険	
災害発生状況	この程度の雨でも長く続く時は注意が必要です。 	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れが始まります。 	山崩れ・がけ崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。都市では下水管から雨水があふれます。 	都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある。マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生します。 	雨による大規模な災害の発生するおそれ強く、厳重な警戒が必要です。 

風水害

## 大雨の際の危険箇所

### ◇地下室

大雨のときは危険なので、早めに退避しましょう。

- ①地上が冠水すると、一気に地下の方へ水が流れ込む。
- ②浸水すると電灯が消え、エレベーターも使えなくなる。



- ③流れ込む水圧で、ドアが開きにくくなる。
- ④地下では地上の様子がわからない。



### ◇アンダーパス

鉄道の下など路面が低くなっているところは、水のたまる恐れがあるので、車で入らないようにしましょう。浸水・冠水の危険を感じたら、速やかに車を高台に移動させましょう。



### ◇川

急に空が暗くなり、雷が聞こえ始めたら、急激に増水する恐れがあるので、川に近付かないようにしましょう。

## 避難のポイント

外出が危険なときは、家の2階などの少しでも安全な場所に移動する。(垂直避難)



避難前に、ガスの元栓やブレーカーを切り、火の始末や戸締りをする。



いざという時、居場所を知らせるために、笛(ホイッスル)を持っておく。



非常持出品は必要最低限にとどめ、背負って、両手は自由に動かせるようにする。



長靴は水が入って歩きにくく危険。裸足も禁物。運動靴をはく。



道路冠水時は、側溝、水路、マンホール(ふたが外れている可能性がある)、坂道(水深が浅くても水の流が速い)、ため池などが危険。



橋を渡らないようにする。



足元が見えないことが多いので、よく通っている道でも道路の真ん中を慎重に歩く。



先導の人は窪みや溝を確認するため、長い棒を杖にしながらかく。



2人以上で避難する。家族はロープでつながって避難する。



流水や冠水の中で歩ける水深は、膝ぐらい(男性70cm、女性50cm程度)までが目安になる。それ以上なら無理をせず、高い所で救助を待つ。



増水したら、子どもは浮き袋に寄せ、乳幼児はベビーバスを船のように使う。



自動車はもちろん自転車での避難も危険なので、必ず歩いて避難する。



田んぼや畑の見回りは避ける。



垂れ下がった電線には触らない。



隣近所に声をかけて助け合いを大切にする。病人や歩行困難な人に対しては特に配慮が必要。



## 竜巻・落雷から身を守るために!

近年、竜巻や落雷といった災害が増加傾向です。発生する要因を知り、すみやかに避難できるようにしましょう。

### ◆“発達した積乱雲”に注意!

竜巻・落雷とも台風・寒冷前線・低気圧などにより“発達した積乱雲”に伴って発生します。

### 兆候

- ・真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなる
- ・雷の音が聞こえてくる
- ・急に冷たい風が吹いてくる
- ・大粒の雨やひょうが降りだす

### ◇竜巻

日本では、平均して年に23個程度(2007~2017年、海上竜巻を除く)の発生が確認されています。一度発生すると家屋の倒壊や車両の転倒、飛来物の衝突などにより短時間で大きな人的・物的被害をもたらすことがあります。



### <避難のポイント>

- ・近くの頑丈な建物に避難する。
- ・飛散物から身を守るような物陰に身を隠し、頭を抱えてうずくまる。
- ・窓や扉、部屋の隅や外壁から離れ、頑丈な机の下に入り、両腕で頭と首を守る。

### ◇落雷

雷は積乱雲の位置次第で、海面、平野、山岳など場所を選ばず落ちます。また周囲より高いほど落ちやすいという特徴があります。



### <避難のポイント>

- ・雷鳴が聞こえたら、すぐに建物の中や自動車の中に避難する。
- ・避難する建物がない場合は、電柱や木から4m以上離れて、身を低くする。

## 自助・共助・公助

災害に対する予防・応急対応、復旧・復興には、市民の皆様と行政機関等がそれぞれ役割を果たし、協力・連携して対策に当たることが大切です。特に被害を最小限に抑えるためには「自助・共助・公助」の効果的な組み合わせが重要です。

### ◆自助

「自分の身は自分で守る」

飲料水、食料等の備蓄、防災知識、技術の修得、危険回避のための自主避難など、普段からの災害に対する準備。

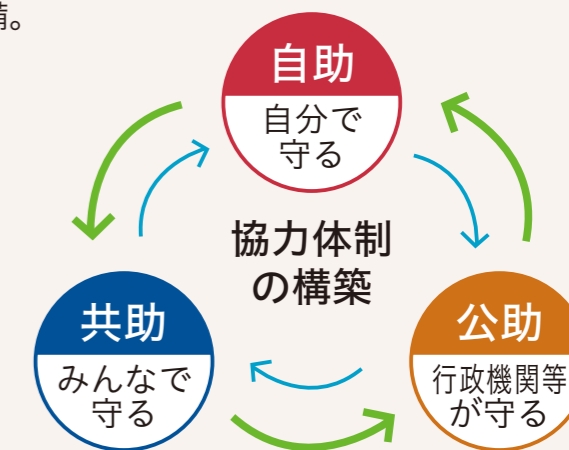
### ◆共助

「互いに助け合い、被害を減らす」

自主防災組織の結成、活動の促進、訓練への参加、相互協力体制の推進。

### ◆公助

行政機関等(市、府、国、消防、警察、自衛隊など)の活動。各機関とも災害の発生からできるだけ早く応急対策活動にあたるよう備えています。



自助・共助・公助の連携が必要です

## 自主防災組織の協力

### ◆自主防災組織とは

地域住民が連携し自主的に防災活動を行う組織のことをいいます。

### ◆平常時の活動

- ①防災知識の普及啓発
- ②防災訓練や地域の防災安全点検の実施
- ③防災資機材の備蓄

### ◆災害時の活動

- ①地域住民への避難の呼びかけ・誘導
- ②負傷者の救出・救護
- ③初期消火活動
- ④避難所の運営

特に大地震のような大規模な災害時は、交通網の寸断、通信手段の混乱、同時多発の火災などで、消防や警察なども、同時にすべての現場に向かうことはできません。そのような事態に備え、地域住民が連携して地域の被害を最小限に抑えることが自主防災組織の役割です。あなたとあなたの町を守るために自主防災活動へ積極的に参加し、「災害に強いまち守口市」を作り上げましょう。



自主防災

## 「防災士」の資格をご存知ですか?

「防災士」は、日本防災士機構が「自助」「共助」「協働」を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得した方に与える資格で多くの地域で活躍されています。



# 備え

避難時すぐに持ち出すべき「非常持出品（一次持ち出し品）」と救援物資が届くまでに必要な「備蓄品（二次持ち出し品）」の2つの段階で準備をしておくことが必要です。リストを参考に、個人や家庭で必要なものをしっかり準備しておきましょう。

## 非常持出品

被災時・非常時にまず持ち出すもので、最初の日をしのぐために必要なものです。できるだけコンパクトにまとめて避難袋やリュックに入れ、玄関など場所を決めて準備しておきましょう。

	チェック欄	品名	備考メモ
貴重品類		現金（10円玉）	10円玉は公衆電話用に。
		預金通帳	通帳、カード、健康保険証、運転免許証、個人番号カードなどは番号を控えたメモかコピーを用意しておくといでしょう。
		印鑑	
		保険証	
		免許証	
		個人番号カード	
避難用具		懐中電灯	懐中電灯はできれば1人に一つ用意したいもの。
		携帯ラジオ	
		予備の乾電池	
		ヘルメット・防災ずきん	
生活用品		厚手の手袋	避難所生活に最低限必要なものです。赤ちゃんやお年寄り、障がい者がいる場合など考慮してそろえましょう。
		毛布	
		缶切り	
		ライター・マッチ	
		ナイフ	
		歯ブラシ（歯磨き粉）	
		携帯用トイレ	
救急用具		救急箱	救急箱には絆創膏・消毒液など。その他ビタミン剤など日頃使っているサプリメントなどもあるといでしょう。
		処方箋の控え	
		胃腸薬・便秘薬・持病の薬	
非常食品		乾パン	そのまま食べられるものが便利です。
		缶詰	
		栄養補助食品	
		アメ・チョコレート	
		飲料水	
衣料品		下着・靴下	衣類は動きやすいものを選びましょう。セーターなどの防寒具も寒い季節には役立ちます。
		長袖・長ズボン	
		防寒用ジャケット・雨具	
その他		携帯用カイロ	寒い季節に役立ちます。

## 家族構成や家庭の事情に合わせて準備しておくもの

	チェック欄	品名
必需品貴重品		現金
		車や家の鍵
		携帯電話・充電器 (バッテリー予備があれば安心)
		眼鏡・コンタクト用品
		補聴器
女性用品		生理用品
		鏡・ブラシ
		化粧品
乳幼児用品		粉ミルク又は液体ミルク
		哺乳瓶・洗浄剤
		離乳食
		紙おむつ・ウェットティッシュ
		着替え
		バスタオル・ガーゼ
		母子手帳
		ベビーカー・おんぶひも
高齢者用品		おむつ・着替え
		持病薬・杖
		入れ歯・洗浄剤

# 備え

## 備蓄品



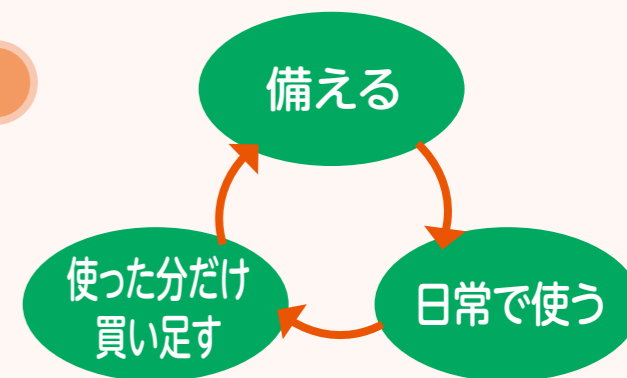
避難した後、安全を確認して自宅へ戻り、避難所へ持ち出すことや、自宅で避難生活を送る約1週間を想定して、必要な備蓄品を備えておきましょう。

	チェック欄	品名	備考メモ	
食料品		レトルト食品（ごはん・おかゆなど） アルファ化米	1人1日3リットルが目安です。1週間分を備えましょう。	
		インスタントラーメン・カップみそ汁		
		飲料水		
生活用品		給水用ポリタンク	ウェットティッシュは入浴できない災害時に体がふけるなど重宝します。 食器の上にかければ洗う必要もありません。	
		カセットコンロ・ガスボンベ		
		ティッシュペーパー ウェットティッシュ		
		ラップ		
		紙皿・紙コップ・割り箸		
		簡易トイレ		
		水のいらないシャンプー		
		ビニール袋		雨具や敷物、簡易トイレとしても使用可能。不透明なものはプライバシー保護にも役立ちます。
		ロープ		救助活動の際に使えます。
		工具セット		ガラスなどの除去に役立ちます。
		ほうき・ちりとり		がれきなどから足を保護するために。
	ランタン			
	長靴			

## ローリングストックが有効です

### ◆ローリングストック法とは？

食材を買い置きして賞味期限が過ぎれば廃棄するのではなく、「食べ回しながら次の備蓄をしておく」という考え方です。



### ◆利点

- 賞味期限切れで廃棄するなどの無駄がなくなり、在庫管理がしやすい。
- 食べなれた食品やフリーズドライ食品などをストックすると、非常食の選択の幅が広がる。
- 乳幼児のいる家庭や食品アレルギーのある人は、災害時でも安心して食事ができる。
- トイレトペーパーやガスボンベ、電池など生活用品にも応用できる。

※特にマンションの高層階になるほどエレベーターが停止中の移動が困難となるため、備蓄数を増やしておくとい安心です。

# 避難所一覧

※令和5年9月1日時点

避難所					
	施設名	所在地	電話	AED	地図座標
1	庭窪中学校	佐太中町4-1-7	6902 - 6951	●	1 - C3
2	庭窪小学校	佐太中町1-6-10	6901 - 2369	●	1 - C3
3	佐太小学校	佐太中町6-11-51	6902 - 1171	●	1 - D2
4	藤田小学校	藤田町1-58-18	6903 - 2321	●	1 - E4
5	金田小学校	金田町3-11-11	6901 - 6667	●	1 - E3
6	梶小学校	梶町4-79-12	6902 - 8300	●	1 - D4
7	よつば小学校	大久保町2-17-26	6901 - 5425	●	1 - E4
8	大阪国際大学	藤田町6-21-57	6902 - 0791	●	1 - F5
9	大久保中学校	大久保町4-23-46	6902 - 1161	●	1 - E3
10	梶中学校	梶町4-28-5	6902 - 0813	●	1 - D4
11	児童センター	金田町1-4-1	6902 - 1006	●	1 - D4
12	東部エリアコミュニティセンター	大久保町1南-27-6	6902 - 5500	●	1 - E4
13	東部エリアコミュニティセンターよつば未来体育室	大久保町5-3-48	6780 - 4428	●	1 - F4
14	第一中学校	竹町12-29	6991 - 0680	●	2 - C4
15	守口小学校	八島町13-40	6991 - 2367	●	2 - C4
16	八雲小学校	八雲西町4-31-31	6991 - 2490	●	2 - D2
17	下島小学校	下島町15-27	6993 - 0201	●	2 - C2
18	八雲東小学校	八雲東町2-77-7	6909 - 3221	●	2 - E2
19	西部コミュニティセンター	文園町8-8	6993 - 1341	●	3 - B1
20	八雲中学校	八雲西町3-5-21	6992 - 3920	●	2 - C2
21	守口東高校	八雲中町2-1-32	6906 - 8211	●	2 - D3
22	芦間高校	外島町1-43	6993 - 7687	●	2 - C3
23	淀川工科高校	大阪市旭区太子橋3-1-32	6952 - 0001	●	2 - C4
24	樟風中学校	西郷通3-14-60	6992 - 7181	●	3 - D1
25	寺方南小学校	寺方元町4-1-45	6991 - 0642	●	3 - D2
26	さくら小学校	東光町2-1-4	6992 - 6551	●	3 - D1
27	大阪電気通信大学高校	橋波西之町1-5-18	6992 - 6261	●	2 - D4
28	大阪国際滝井高校	馬場町2-8-24	6996 - 5691	●	3 - C2
29	さつき学園	春日町13-26	6991 - 0440	●	3 - C1
30	南部エリアコミュニティセンター体育室	大宮通1-14-9	6997 - 4120	●	2 - E5
31	大阪国際大学松下町校地	高瀬町4-1-19	6902 - 0791	●	3 - C2
32	錦小学校	寺方錦通2-8-45	6998 - 3661	●	3 - E2
33	錦コミュニティセンター	菊水通4-20-10	6991 - 1548	●	3 - E2
34	錦中学校	南寺方東通4-1-31	6998 - 6610	●	3 - E3

※大阪国際大学、南部エリアコミュニティセンター体育室を除く避難所は指定緊急避難場所にも指定しています。

# 一時避難場所・広域避難場所一覧

一時避難場所・広域避難場所一覧					一時避難場所	広域避難場所
	施設名	所在地	地図座標			
1	佐太中央公園	佐太中町6-44	1 - D2	●		
2	金田第2公園	金田町3-231	1 - E2	●		
3	藤田公園	藤田町2-138	1 - E4	●		
4	金田公園	金田町1-247	1 - D3	●		
5	大日南公園	大日東町88	2 - F2	●		
6	梶第1公園	梶町2-172	1 - D4	●		
7	大久保中央公園	大久保町4-207	1 - E3	●		
8	よつば未来公園	大久保町5-6	1 - F4	●		
9	下島公園	八雲北町1-1	2 - C2	●		
10	日吉公園	日吉町2-15	2 - C5	●		
11	松月公園	松月町22	2 - D4	●		
12	関西医科大学総合医療センター ホスピタルガーデン	文園町10-15	3 - B1	●		
13	土居公園	梅園町10	3 - C1	●		
14	たきい公園	文園町13-5	3 - B1	●		
15	大宮中央公園	大宮通1-16-1	2 - E5	●		
16	菊水公園	菊水通4-42	3 - E2	●		
17	淀川河川公園		1-C2・2-C1		●	
18	鶴見緑地		3 - D5		●	
19	大枝公園	松下町3	3 - D1		●	

※一時避難場所・広域避難場所一覧（12を除く）については地番を表記しています。

## 避難所

市内の学校や公共施設などで、大地震や家屋の大規模損壊、浸水やその恐れがあるとき、避難される市民が過ごせる場所です。

## 一時避難場所

市内の比較的大きな公園で、地震や火災などで、市民の皆さんが避難できる場所です。

## 広域避難場所

市内で最も大きな公園で、地震や大規模火災の延焼などの際に多くの市民が安全確保のため、一時避難できる広域的な場所です。

## いざという時の連絡先

警察(緊急)	110
消防(火災・救急)	119
守口市役所	6992-1221
守口市水道局	6991-6774 6991-6777(休日・夜間)
関西電力送配電(株)	0800-777-3081
大阪ガスネットワーク(株)	0120-5-19424 (ガスもれ通報専用電話)
NTT西日本	113 0120-444-113(携帯電話)



避難所一覧

避難場所一覧

保護者の方へ

ここから（P18～P21）は「こども向け防災ページ」として災害時の危険への対処法や、判断力を養うための情報を掲載し、お子さんに災害への対応力を身につけていただくことをねらいに作成しています。日頃から家庭内で防災について話し合い、普段からの備えにご活用ください。



いろいろな種類の災害があるので  
気をつけよう！

周りにはいろいろな災害があるよ！  
家の周りでどんな災害が起こるか考えてみよう！

◎台風・大雨

台風や大雨のときは外へ出ないようにしよう。雨水があふれると、道のでこぼこや穴が見えず危ないよ！

◎がけ崩れ

大雨がつつくと地盤が緩んでがけ崩れや土石流が発生するかもしれないので注意しよう。

◎その他（落雷・高潮）

ふだんからテレビやラジオで気象情報を見てチェックしよう。

◎津波

海に近い場所では津波が発生するかもしれないよ。できるだけ海から離れた場所に避難しよう。

◎火事

ふだんから火の元に注意しよう。火事を見つけたらすぐに大人に知らせよう。

◎地震

地震はいつどこで起こるかかわからないので、いざという時にあわてないように、日頃から家のひとと誰が何をするかを決め、避難場所を確かめておこう。

さいがい 災害について知ろう！

いざというときのために、知っておかなければいけないことがあるんだよ。

火事では煙も炎と同じくらい怖い

煙に巻き込まれてしまうと大変危険なんだよ。姿勢を低くして、ぬらしたタオルなどで口や鼻をふさいで避難しよう。



火事の際は身ひとつで

荷物をもつての避難は大変危険。忘れ物をして絶対に戻らないようにしよう。エレベーターも動かなくなることがあるので、階段で逃げよう。



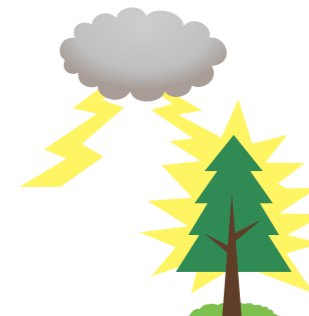
台風や暴風雨のときに

テレビやラジオで気象情報をチェックしよう。停電に備えて、懐中電灯・ラジオや非常持出品を日頃から用意しておこう。



落雷にも注意しよう

雷はどこで起こるか分からないので、ゴロゴロ音が聞こえたら、建物の中に避難しよう。



防災豆知識

日頃から備えておこう！

●災害時には水が出なくなることもあるよ。日頃からお風呂の浴槽に水を張っておけば、トイレなどの生活用水としても使えるよ。



●枕元には、懐中電灯・スリッパ・タオル・笛を置いて寝よう。急に避難する時にもあわてずにすむよ。

スリッパは、ガラスの破片などから足を守るよ。

タオルは、口や鼻をおおうなど、色々活用できるよ。

●避難用リュックサックにつめる荷物は、最低限必要な物を準備し、重すぎないようにしよう。



## 大きな地震が起きたら!!

地震が起きたら、  
まずあわてず身の安全を確保しよう。

◎ **自転車に乗っていたら**  
自転車に乗っていたら緊急車両の邪魔にならないように道路の端に停めておこう。カギはつけたままにしておこうね。

◎ **家の中にいるとき**  
座布団などで頭をおおってテーブルの下に避難しよう。脚をしっかり持っておくとテーブルが動きにくいよ。あわてて飛び出すと物が上から落ちてくることもあるので揺れが収まってから外に出るようにしよう。

◎ **町の中にいるときは**  
電柱・ブロック塀・看板・自動販売機が倒れてくるかもしれないので、公園や広い場所に避難しよう。割れたガラスの破片にも気を付けて!

◎ **電車やバスの中では?**  
両手でつり革や手すりをしっかり持って、揺れが収まるまで待とう。あとは車掌さんや駅員さんの指示に従うようにね。



## 防災対策チェック!!

災害はいつ起こるか分からないよ。  
自分でできることを知っておこう。

◎ **家族みんなで防災会議をしてみよう**  
災害が起こったときに家族みんな一緒にいるとは限らないよ。家族みんなで防災会議をして、いざというときの待ち合わせ場所を決めておこう。



## 家の中の安全対策

- ◎ ドアの出入り口の近くに物を置かないようにしよう。
- ◎ 寝る場所や避難経路に家具が倒れないようにしよう。
- ◎ 重いものは、高い位置に置かないようにしよう。
- ◎ ガラスには、割れたときに飛び散らないようフィルムを貼ると安心だよ。



## 避難するとき

- ◎ 一人ではなく大人と一緒に避難しよう。
- ◎ 不要な荷物は持たずに歩きやすい靴をはいて避難しよう。
- ◎ できるだけ広い道路を使おう。
- ◎ 自宅近くの避難所を普段からチェックしておこう。



## 保護者の方へ

### 防災訓練に参加しましょう。

災害への対策は日頃の備えが重要です。あらかじめ連絡方法などを家族みんなで決めておきましょう。また、地域で防災訓練があれば積極的に参加しましょう。



## 地震が起こった時をイメージして実際に動いてみよう

	できたチェック	やってみてどうだった?
自転車に乗っているときは?	<input type="checkbox"/>	_____
家の中にいるときは?	<input type="checkbox"/>	_____
電車やバスの中にいるときは?	<input type="checkbox"/>	_____
町の中にいるときは?	<input type="checkbox"/>	_____

## 家族の防災会議で決まったこと (待ち合わせ場所・連絡方法など)

---



---



---



---



---